

【津田沼中央総合病院】令和7年度病院前救護所検討へ向けた試行訓練 報告書

実施日時：令和8年3月7日（土） 14時00分～15時00分

【目標1】救護所の設置を速やかに行い病院前救護所運営を実施するにあたり必要物品を確認する。

項目	詳細・課題
(1)救護所の設置	○正面玄関前の屋根がある箇所に受付を設置し、傷病者の待機場所にはブルーシートを引き対応した。 ○トリアージエリアは風除室で行った。
(2)物品確認	○受付は院外であったが、屋根があったため今回はテント・バルーンライト等 は使用せず、机のみで対応した。

【目標2】傷病者の来院を想定し、トリアージの実施と病院内のトリアージエリアへの搬送に係る手順や動線を確認する。

項目	詳細・課題
(1)トリアージ・カルテの記録	○受付ブースで傷病者一覧を作成し、トリアージタグと紙カルテへ基本的な情報（氏名・年齢・住所等）を記載した。 ○風除室では医師1名がトリアージを実施し、タグへ記入した。 ○病院職員が患者役となり実際にトリアージ行い、タグ・カルテへの記録を実施した。
(2)搬送手順の確認	①トリアージとカルテ作成 ②トリアージタグとカルテを持たせ、院内へ搬送 ※院内搬送に係る確認は不要
(3)搬送に係る動線の確認	緑…正面玄関より病院内の待合スペースへ移動し、クロノロ作成及び処置をし、処方後は発熱外来入口から帰宅。 黄…正面玄関より内科受付前へ搬送 赤…正面玄関より黄色エリアを通過し処置室・救急室へ搬送

【目標3】院内災害対策本部への情報伝達手段を確認する。

項目	詳細・課題
(1)情報伝達手段の確認	○設置報告は書面で、院内1階の医事課（初期院内災害対策本部）へ報告。 ○定時報告は時間の関係で実施せず。